

広報

かわにし

(毎月10日発行)



昭和61年 2/10 No.330

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 2月1日現在 —	
男	4,734 (-1)
女	4,849 (-1)
計	9,583 (-2)
世帯数	2,307 (-2)
(前月比較)	



スキー授業 大好き

かんのうスキー場で

先月30日、かんのうスキー場で
仙田小学校の3、4、5年生がス
キー授業を受けていました。
「スキー授業大好き、ボーゲン
もうまくなりました……」

主な内容

- ▷ 59年度一般会計決算 [2][3]
- ▷ 59年度特別会計決算…… [4]
- ▷ 新年度予算案まとまる… [5]
- ▷ 所得税の確定申告…… [6]
- ▷ 住民税の申告…… [7]
- ▷ 米寿のお祝い…… [8]
- ▷ 町史の窓…… [9]
- ▷ ひろば…… [10][11]
- ▷ 情報…… [12]
- ▷ 町内さんぽ…… [13]
- ▷ 戸籍の窓から…… [14]

2月の休日救急医

- 16日 富田 医院 (神明町)
- 23日 池田 医院 (本町西)

3月上旬の予定

- 2日 山口 医院 (袋町)
- 9日 富田 医院 (神明町)

町の家計簿

59年度は
2億2,461万円の
黒字

一般会計の歳入総額は二十九億九千三百三十一万五千五百一円、これに対し歳出は二十八億五千四百四十四万九千四百九十九円で、差し引き一億三千八百八十八万二千八百一十二円の残額となり、翌年度へ繰り越されました。前年度に引き続き、一億円台という大幅な黒字決算となりました。



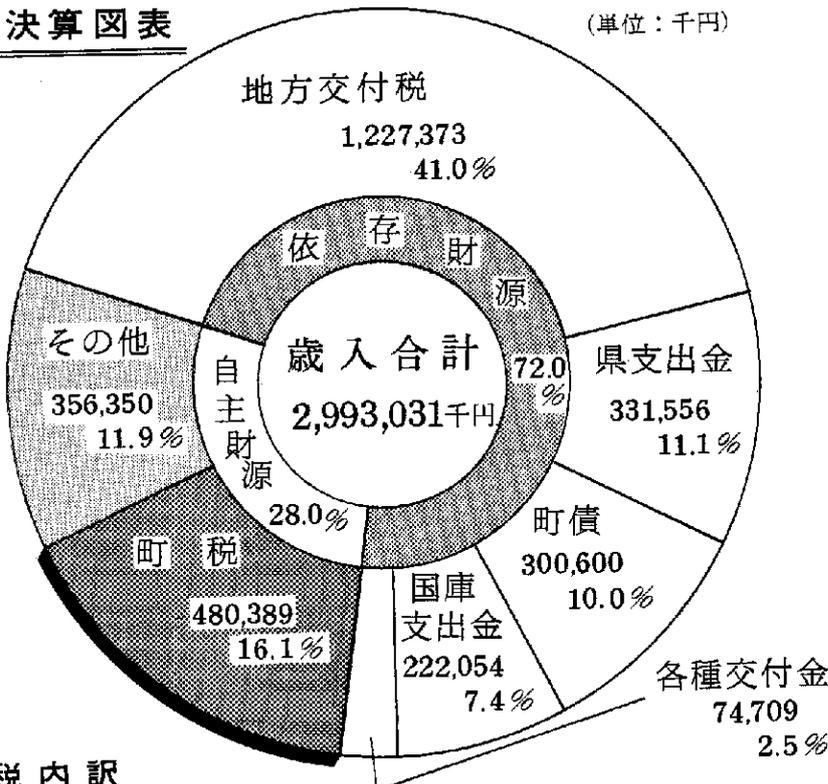
12月定例議会で昭和59年度の各会計決算が認定されました。

決算状況は、一般会計が1億3,888万円の黒字、特別会計が7会計の合計で8,573万円の黒字となり、繰り越し総額は2億2,461万円となりました。

前月号では決算額だけの紹介でしたので、今回は主な事項を掲載することにしました。

歳入決算図表

(単位：千円)

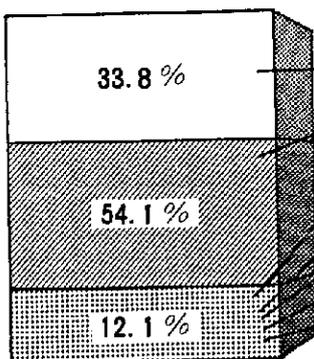


歳入の状況

町税の伸び率は四・三%で、県内平均七・一%を一・八ポイント下回りました。個人町民税が前年度対比九四・九%と過去十五年間の最低になったのが影響しました。

歳入の四一・〇%を占める地方交付税は、前年度の一一・二%増にとどまり、厳しい財政となりました。国庫支出金は、橋小学校改築に対する分の増加があり、前年度の一六・四%増となりました。県支出金は、項目別には減る方向にあり、全体としては前年度より一・七%減りました。町債については、前年度を七

町税内訳



税目	税額 (千円)	町民1人当たり
町民税	162,274	16,759円
固定資産税	259,651	26,815円
軽自動車税	9,780	1,010円
たばこ消費税	28,425	2,935円
電気税	19,923	2,058円
木材引取税	19	2円
特別土地保有税	317	33円
合計	480,389	49,612円

百万円、二・二%下回りました。主なものは、橋小学校の千五百五十万円の増、野球場建設の千五百二十万円の増、地域休養施設の三千二十万円の減などがあります。自主財源が約三割という財政の中で、国・県の補助事業を積極的に取り入れ、町づくりを進めました。

歳出合計

2,854,149千円

主な歳出 [おおよそ1,000万円以上、単位：千円、()内は構成比%]

議会費 47,446 (1.7)

総務費 353,382 (12.4)

▶豪雪対策基金積立金 20,000

民生費 242,934 (8.5)

▶社会福祉法人あかね会補助金 11,975 ▶国民健康保険会計繰出金 12,500 ▶児童手当 16,733

衛生費 216,444 (7.6)

▶衛生施設組合負担金 42,109 ▶水道事業会計補助金 51,000 ▶老人保健会計繰出金 23,061 ▶簡易水道事業会計繰出金 20,800 ▶仙田へき地診療所会計繰出金 19,637

労働費 514 (-)

農林水産業費 419,871 (14.7)

▶地域休養施設会計繰出金 13,865 ▶農産物加工施設 36,198 ▶特用林産物栽培施設 10,367 ▶集落下水道整備工事 79,242 ▶フラッシュ施設整備工事 17,956 ▶造林貸金 38,711

商工費 55,232 (1.9)

▶地方産業育成資金貸付金 24,500

土木費 389,208 (13.6)

▶舗装工事 52,487 ▶改良舗装工事 57,397 ▶用地買収費 11,878 ▶特改四種工事田中藤沢線 18,600 ▶雪害対策費光熱水費 24,356 ▶道路除雪委託料 47,342 ▶除雪機械借料 14,462 ▶舗装修繕工事 21,857 ▶防雪体制整備消雪パイプ工事 30,165 ▶融、耐雪住宅建設資金貸付金 15,435

消防費 96,691 (3.4)

▶広域事務組合負担金 95,097

教育費 470,352 (16.5)

▶住宅購入費 18,650 ▶橘小学校本体工事 142,570 ▶同給排水暖房設備工事 27,060 ▶同電気工事 26,720 ▶中子運動場建設工事 9,995

災害復旧費 101,762 (3.6)

▶農地農業用施設50件 6,5733 ▶公共土木施設 8件 22,865

公債費 371,990 (13.0)

▶元金 211,823 ▶利子 160,029

諸支出金 88,323 (3.1)

▶中子用地購入費 88,075

歳出の状況

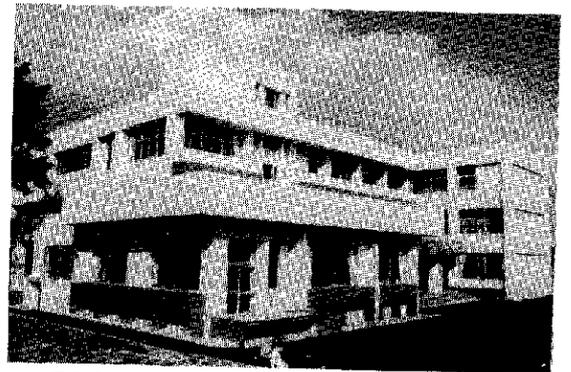
歳出で前年度決算額を上回ったものには、災害復旧費(三八・六%)、商工費(二七・〇%)、土木費(二四・八%)、教育費(二四・〇%)など十款があります。

災害復旧費の大幅な増は、豪

雪による農林施設災害の復旧工事が六千五百七十二万円も多かったことなどにより増します。土木費も、十二月の豪雪による除雪委託料や幹線農道の手直しなどに四千百一十二万円を費やしました。決算額で前年度を下回ったものには、諸支出金(△三一・三%)、公債費(△五・七%)があります。

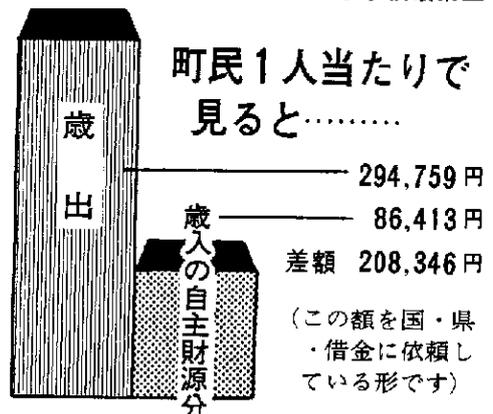
諸支出金は、国鉄用地購入費

が三千四百二十万円減ったことにより増します。公債費は、一部繰り上げ償還の効果が表れたものといえます。農林水産業費も前年度を下回りましたが、これは地域休養施設が特別会計へ移行したためです。五十九年度は、資金繰りを順調に行い、一時借入金利子がなかったのも特徴といえます。

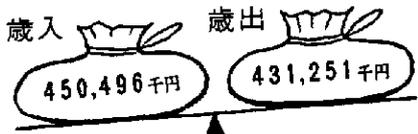


59年度の目玉事業は橘小学校改築工事

町民1人当たりで見ると……



老人保健



1,924万4,460円の黒字決算となりました。

老人保健会計は、支払基金から70%、国20%、県5%、町5%で賄われています。

70歳以上のお年寄り1,033人、65歳～70歳の寝たきりのお年寄り19人、計1,052人が対象となっています。1人当たりの医療給付額は40万5,119円でした。

農業共済



各共済勘定を合わせ、5,286万3,230円の黒字が出ました。

農作物勘定（水稲）には1,334戸が加入し、引受面積は967haとなっています。この年は天候に恵まれたのと、徹底した防除とで、共済金支払戸数は18戸（前年度43戸）にとどまりました。

家畜共済勘定は119件の事故があり、共済金を支払いました。

今後とも関係機関と連絡を取り合い、被害の未然防止に努力していきます。

地域休養施設



黒字が167万5,824円という決算です。

事業収入は8,639万4,465円で歳入総額の84.2%でした。一般会計からの繰入金が1,386万5,000円（13.5%）あります。

59年度の松葉荘利用者数は、宿泊者3,404人、休憩者7,029人、入浴者5,945人、会食者12,945人、食堂利用者17,029人、展望台利用者12人、合計で46,400人となっています。

今後ともお気軽にご利用して下さるようお願いいたします。

国保診療所



196万566円の残額が出ましたが、国保会計から1,250万円の繰り入れがあるので実質的には1,000万円余の赤字決算となります。

歳入は、診療収入が全体の80.1%、他会計からの繰入金が13.1%といったところです。

歳出では、総務費が41.5%、医療費が51.4%を占めています。

経営の合理化が迫られています。皆さんからも地域診療施設として、積極的にご利用いただきたく存じます。

へき地出張診療所



残額が43万4,870円となりました。

診療収入は歳出総額の29.5%にとどまり、そのため一般会計から1,250万円（44.9%）の繰り入れを行いました。

仙田地区の皆さんの健康を守りたいせつな施設ですので、医療全般を見直す中で改善を図っていきます。

簡易水道



122万8,460円の残額となりました。

水道使用料は1,858万8,027円で、前年度より700万円少なくなりましたが、これは田戸、中仙田、赤岩の3簡水が上水道会計へ移ったためです。

水道料金は前年度並に抑えました。

使用料の伸びも期待できず、運営も容易ではありませんが、生活に欠かせない水ですから、安定給水を第一に考えていきます。

特別会計

7会計とも

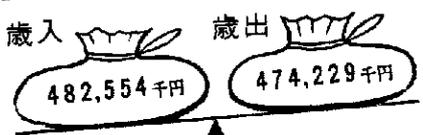
黒字決算

昭和59年度は、地域休養施設が特別会計に加まりました。

特別会計は、特定の事業を実施する場合や、特定の歳入を特定の歳出に充てる場合に認められる制度で、一つの事業の収支を表します。

特別会計は7会計ありますが、59年度は全部黒字決算となりました。繰り越し額は全部で8,573万2,871円です。

国民健康保険



59年度の国民健康保険加入者は4,455人（1,385世帯）となっています。加入率は45.7%でした。

保険料は1人当たり4万3,150円（1世帯当たり13万7,780円）となりました。前年度より1人当たり21.9%（1世帯当たり19.5%）高くなっています。

決算額は、832万5,461円の黒字が出ました。

歳入では、保険料が前年度より18.3%の増、国庫支出金は歳入総額の51.8%で前年度対比9.6ポイントの減少でした。国庫補助率の低下は、この会計に大きく影響しています。

歳出では、保険給付費が全体の61.7%を占めました。これに老人保健拠出金の29.6%を加えた実質的な給付費は91.3%という数字で、前年度より3.8%減少しました。

国民健康保険会計の健全な運営には、加入者の皆さんから健康の自己管理を積極的に行っていただくことがたいせつとなります。集団検診も活用ください。

61年度川西町一般・特別会計予算案

(単位：千円、%)

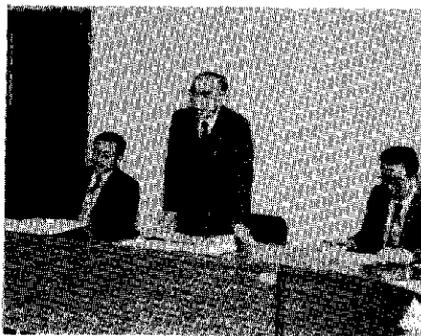
会計区分	本年度	前年度	増減率	
一般会計	3,110,000	2,775,000	12.1	
特別会計	国民健康保険	516,505	513,541	0.6
	国民健康保険診療所	94,034	88,168	6.7
	仙田へき地出張診療所	22,557	21,464	5.1
	老人保健	502,605	491,005	2.4
	地域休養施設	93,715	102,439	△8.5
	農業共済事業	98,015	101,844	△3.8
	簡易水道事業	42,000	41,800	0.5
	農村集落排水事業	135,500	0	皆増
計	1,504,931	1,360,261	10.6	
合計	4,614,931	4,135,261	11.6	

(△印：減)

積極大型の一般会計

新年度予算案まとまる

新年度予算案がまとまり、二月一日に役場の委員会室で南雲町長が発表しました。
 一般会計は三十一億二千万円(二二・一%の伸び)、特別会計は農村集落排水事業を新設し、八会計で十五億四百九十三万一千円(一〇・六%の伸び)となり、総額では四十六億二千四百九十三万二千円の予算案を組みました。前年度対比一一・六%の伸びです。



予算案を発表する町長

町長は、「本年は町村合併三十周年の節目の年である。記念事業は四十周年、五十周年と将来に結びつくものとし、地域の盛り上がりを目指す予算編成にした。積極大型の予算案であるが、国の高率補助の率の引き下げなども影響し、財源的には極めて厳しいものである」と説明しました。
 重点的な事項としては、教育

施設の整備充実で上野地区コミュニティセンターの建設(四千六百万円)、新十日町大橋関連事業(二億二千七百九十八万一千円)などがあります。また、新年度から嫁婿不足対策のために専門職を置く方針です。
 金額的には上野小学校の改築工事(六十年からの継続)が二億二千七百九十五万二千円で最大です。

「明日のかわにしを考える」

地域おこし集会に150人



集会の様子

画・演出の戦略と戦術に参加)
 「現在は見る観光から参加する観光へと変わってきた。若者が集まるシカケづくりも必要である。観光客と町民が接触し、町を印象づけなければならぬ」
 *上村政基さん(仙台地域産業おこしフェア)魅力ある地域づくり―文化・観光とイベントに参加)

「明日のかわにしを考える」と題して、地域おこしの先進地事例を学んで来た人たちが囲んでのパネルディスカッションが先月十五日に総合センターで開催されました。参加者は百五十人でした。

南雲町長は、「川西町の発展のために今日の催しが有意義となるように」とあいさつし、コーディネーターの北村準一さんは、「学んできたことをお伝えし、明日のかわにしを考える人の輪を広げたい」と進行役を務めました。

パネラー四人の発表の要旨をまとめてみました。
 *宮昭一さん(まちづくり実践研修会)東京、まちづくりの企

「みんなで町をかき回すことも必要である。その中から考える力とやる力がわいてくる。先輩たちの知識と経験をバックに青年たちがリーダーにならなければならぬ」
 *田口直人さん(仙台同、実践事例発表会)に参加)
 「川西町出身と誇りを持っていえる町にしたい。町の将来を考えた場合、人づくり、リーダー育成に努めなければならぬ。国際化への対応も必要である」
 *南雲瑞男さん(仙台同、売れる商品開発と販売開発)に参加)
 「本物しこの時代となり、消費者の要求を満たしたものでなければ売れない。販路を広げるにはいかにPRするかである」

税金は一種の会費です

確定申告のシーズン到来

期間は2月16日～3月15日

昭和六十年分の所得税の確定申告の準備は、もうお済みでしょうか。

所得税の確定申告は、二月十六日から始まり、申告期限は三月十五日ですが、期限

間近になりますと税務署はたいへん混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようになりかねませんので、確定申告は早めに済ませてください。

確定申告を

しなければならぬ人

次の人は確定申告をしなければなりません。

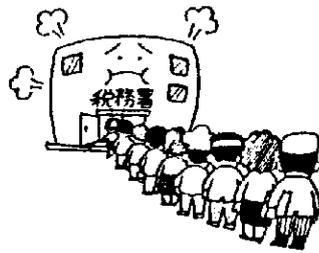
■事業をしている人や不動産の収入がある人、土地や建物を売った人などで、その所得金額が基礎控除などの所得控除の合計額を超える人

■サラリーマンで、給与の年収が千五百万円を超える人、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える人、二か所以上から給与を受けている人 など。

確定申告出張相談日程

期 日	時 間	会 場
2月21日(金)	午前 10 時	総合センター
2月24日(月)		
2月25日(火)	午後 4 時	
3月6日(木)		
3月7日(金)		

※ 2月24日は譲渡所得の申告も受け付けます。



期限間近の様子

所得税は

申告納税制度

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自分の所得を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

贈与税の申告

お忘れなく

贈与税は、1年間に個人からもらった財産の合計金額が60万円を超えるときにかかる税金です。

贈与税の申告と納税は、2月1日から3月15日までです。

夫婦の間で居住用不動産などの贈与があったときは、一定の要件を満たせば基礎控除60万円のほかに、配偶者控除として最高1,000万円までが課税価格から差し引かれます。

なお、この贈与税の配偶者控除は、一生に一度しか受けることができません。

白色申告者も

収支内訳書が必要

確定申告をしなければならぬのに申告しなかつたり、間違った申告をしたりすると、後で不足の税金を納めるだけでなく、不足税額の一〇%または五%の割合の加算税が課され、延滞税も納めなければならぬことになります。

事業所得等を生ずる業務を行っている場合(青色申告者を除く)には、確定申告書を提出する時に、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付しなければなりません。

昭和六十年分から新たに記帳制度が設けられ、五十八年分

パート収入と所得税

主婦がパートタイムで働いて年収が90万円(給与所得控除額57万円+基礎控除額33万円)を超えた場合、配偶者控除が受けられただけでなく、主婦自身にも所得税がかかります。



五十九年分の事業所得等が三百万円を超えた人は、この制度による記帳を基とし、収支内訳書を作成することになっています。

期限内に

納税を!

国や地方公共団体は、私たち国民が健康で豊かな生活ができるように、幅広い活動を行っています。

税金は、このように国や地方公共団体が活動するためのたいせつな財源であり、私たちが生

活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ、いわば会費のようなものです。

税金にはいろいろな種類があり、それぞれ納める期限が決まっていますので、納税は期限内に済ませましょう。

確定申告による所得税の納期限は、申告期限と同じ三月十五日までです。

所得税の便利な納税の方法と

住民税の申告

3月15日までに

住民税(町県民税)の申告も、所得税の確定申告と同様、二月十六日から三月十五日までの期間に行うことになっています。

この申告は、住民税や国民健康保険料などを計算する基となるだけでなく、各種証明資料として用いられる重要なものです。

住民税申告書の書き方は「申告用紙」と合わせ「手引き」を配布してありますので、参考にして該当するところを漏れなく正確に記入し、三月十五日までに役場税務課へ提出してください。

申告をしなければ

ならない人

住民税は、住んでいる町や県

して振替納税の制度があります。この制度を利用すれば、銀行などの預金口座から振替によって納税することができ、納税のための手数料が少なく済み、ついうっかり納期限を忘れて滞納してしまいうこともなくなり、たいへん便利ですので、振替納税のご利用をお勧めします。

手続きは、金融機関の窓口や税務署でご相談ください。

の費用をその住民が広く負担し合う考えに基づいた税金です。

このことから住民税の申告は、今年の一月一日現在川西町に住んでいる人で前年中になんらかの収入のあった人がすべて対象となっています。

住民税では収入の全部について申告しますので、昨年秋季に農業所得申告書を提出した方や年金受給の方も忘れずに申告してください。

ただし、所得税の確定申告書を提出した人や、サラリーマンやパートタイマー等で、前年中の所得が給与だけで勤め先から役場に給与支払報告書が提出されている人は、それらが課税資料となりますので住民税申告の必要がありません。しかし、青色申告者で確定申告を決算書の

確定申告で

税金が戻る場合

サラリーマンが納める所得税は、普通、年末調整で過不足が精算され、納税は完了します。しかし、災害に遭ったり、多額の医療費を払った場合や、マイホームを建てたときは、確定申告があります。

詳しいことは、十日町税務署 [☎ (52) 3181] へお気軽にご相談ください。



提出だけで済ませる人は、決算書の写しをつけて住民税申告書を提出してください。

農業所得は

町で計算

農業所得の計算は、昨年秋季に提出していただきました「農業所得申告書」に基づき役場で行います。

確定申告をされる人で農業所得のある方は、税務課に所得額を照会してから申告書に記入してください。なお、勤め人で農業所得が二十万円以上ありますと確定申告がほとんどの場合は必要になります。

住民税の申告についての相談は、税務課窓口で、また二月二

十一日から三月七日までは総合センターで行います。電話でもけっこうですのでお気軽にご相談ください。

税務課の電話番号は(68) 3111番、有線2122番です。総合センターの電話(仮設番号)は(68) 3895番です。

固定資産税 課税台帳の縦覧

- 期間 3月1日～3月20日 (日曜日を除く)
- 時間 午前8時30分～午後5時 (土曜日は正午まで)
- 場所 税務課の窓口

申告相談(去年の様子)



米寿を祝って 朱色の座布団



今年は15人に贈呈



原田の須藤トクさん

今年川西町で米寿(八十八歳)を迎えられた方は、明治三十二年生まれの次の十五人の方々です。
先月八日に、町長や民生委員総務などがそれぞれのお宅を訪問し、朱色の座布団をお贈りしました。

(敬称略) ()内は世帯主
小林 政治 (政一) 栄町
野上 ヤス (キヨノ) 東善寺
齋木 治作 (孝平) 学校町

- | | |
|------------|--------|
| 羽鳥富太郎 (幸蔵) | 上野 伊友 |
| 渡辺 イト (義布) | 上野 野 |
| 上村 米作 (長吉) | 新町新田 野 |
| 小林 トキ (俊男) | 下平新田 野 |
| 上村 イク (勇) | 三領 野 |
| 高橋 直治 (直治) | 木落 野 |
| 永井 ツル (二市) | 野口 野 |
| 中村 カネ (喜一) | 下原 野 |
| 藤巻 リセ (米平) | 根原 野 |
| 丸山 寅吉 (徳助) | 高倉 野 |
| 須藤 トク (昇) | |
| 高橋 秀政 (秀政) | |

新しい年金制度 遣族基礎年金とは……

今年の四月から公的年金制度が変わります。今回の改正で「基礎年金」制度が導入され、今までの国民年金に自営業者等だけでなく、サラリーマンやその奥さんなども含めた国民(被保険者)すべてが加入し、共通の給付として支給されるもので、国民すべてで年金の基礎部分を支えていこうというものです。
基礎年金は三種類あります。老齢基礎年金と障害基礎年金は今までに説明しましたので、今回の遣族基礎年金の説明で、基礎年金の掲載は一区ぎりとなります。

遣族基礎年金

遺族年金は、国民年金に加入している人が死亡したときに、その人に扶養されていた子のある妻、または子に支給されます。(子については、十八歳未満、または二十歳未満の障害者)

現在の母子・準母子年金では、死亡した夫等が国民年金の被保険者であったかどうかは関係なく、支給を受ける妻等自身の保険料納付要件が問われますが、新しい制度では、「死亡者」自身の納付要件について問われる点に注意して



支給に必要な期間

支給に必要な期間は、死亡した人の保険料を納めた期間(保険料の免除を受けた期間を含む)が加入期間の三分の二以上あるか、または老齢基

ふくし

礎年金の支給資格期間を満たしていることとなっています。なお、昭和七十一年二月までは、前の要件に該当しなくても、真近の一年間が保険料納付済み期間であれば受けられます。

年金額

- 年金額は、妻の分としての基本額六十万円(月額五万円)に、子の加算が行われます。子の加算は、第一子・第二子にそれぞれ月額一万五千元、第三子以降には一人につき月額五千元が加算されます。
- ▽妻と子一人 七十八万円
 - ▽妻と子二人 九十六万円
 - ▽妻と子三人 百一十万円
 - ▽子一人 六十万円
 - ▽子二人 七十八万円
 - ▽子三人 八十四万円
- (金額は五十九年度価格)

すでに、母子・準母子および遺児年金を受けている人についても、年金額は遣族基礎年金と同じになります。また、現在母子・準母子福祉年金を受けている人には、四月から遣族基礎年金が支給されます。

川西町史の発刊迫る

川西町の先史時代から現代に至るまでの歩みを調査・記述し、

広く一般に、わたくしたちの町の歴史を理解していただくこと、町史の編さん事業に着手したのは昭和五十五年四月のことでありました。

調査を担当してくださる専門委員と執筆者は、川西町内の郷土史に詳しい方々を中心に、十日町市とその近郊の先生方から引き受けていただき、長岡高専教授の竹内道雄文学博士に監修をお願いしたのでした。

あれから六年の歳月が流れて、千手町・上野村・橋村・仙田村の合併三十周年を記念する今年十一月には、民俗を含めた資料編上・下巻（各冊八〇〇ページ）を、また、明年三月には通史編

上・下巻（各冊九〇〇ページ）を発刊する予定です。

通史編の上・下巻は、編・章・節・項・目・日で成り立ち、大要次の見出しで、町のできごとが詳しく広範囲に記述されています。現在なお調査中の項目を除く。

（一）内は執筆者。
川西町の自然の概況・地史・

勝政権のもとで（山田邦明）

中世の城と館、妻有地方の城

館跡の分布、川西町の城館跡、

中世の村の景観（丸山克巳）

中世の宗教（竹内道雄）

川西町の板碑文化、越後布と

青芋、上杉氏と青芋と越後布、

カラムシの栽培（河部恭平）

中世の交通と街道、信濃川の

産業経済の変化と金融、農業生産の発展（須藤茂一）

明治前期の農村、民権運動の

展開、橋村・上野村・中野村・

千手町村の誕生（金子幸作）

地場産業の発展、腕を競った

職人たち、商店街の歩み、産業

組合の足あと（中条秀雄）

日清・日露戦争と村民、戦後

の川西と伝染病（金子幸作）

近代教育制度の確立と整備、

教育の発展と充実（室岡倉二）

交通・通信の発達、幻の魚沼

鉄道、自動車と電灯、十日町橋

と千手トンネル（上村政基）

災害史に残る大災害、水量と

水害、信濃川と波海川の災害、

復旧事業と治水事業（南雲守）

中野村と千手町村の合併、大

正期の川西郷（金子幸作）

女工出稼ぎ（青木孝子）

十日町線の開通と交通の変遷、

道路網の整備（南雲守）

昭和初期の農村、医療と保健、

川西郷の満州移民、発電所景気

と千手町の誕生、第二次大戦と

決戦下の生活（金子幸作）

昭和初期の学校教育、戦時下

の学校教育（室岡倉二）

戦後の混乱と生活の窮乏、占

領下の町村民、復興期の足どり、

（富井源蔵、金子幸作）

戦後の学校教育、新教育制度

の充実と整備（室岡倉二）

農地改革とその経過、農地改革後の変ぼう、農業の近代化、

川西町の誕生（金子幸作）

経済復興と社会の進展、川西

町の財政のあゆみ（北村準一）

教育の充実と文化の発展、小

中学校校舎の改築（室岡倉二）

川西町の高等学校の沿革、定

時制と全日制分校、県立川西高

等学校創立（丸山富司）

軌道にのる中村町政、町づく

りは人づくり、巨星落つ、均整

と調和を指針に、世紀の大事業

にいどむ、突然の訃報、南雲町

政スタート、うるおい・豊かさ、

活力のある町に（小海正隆）

予約の方には

特価で頒布

「川西町史」を予約特別価格（印刷製本代の実費）で頒布します。合併三十周年を記念してこの機会にぜひお求めください。価格は、通史編と資料編を合わせた全四冊で一万五千円です。ご希望の方は、後日ご案内の「町史購入申込書」で五月三十一日までに予約してください。

町史編さん係あてに電話（0257（68）2128）でお申し込みくださってもけっこうです。分冊頒布はいたしません。

町史の窓

気候の特徴・四季（佐藤文男）

川西町の生物、移り変わる植

物、雪と植物（内川洋）

川西町の林・谷・川・里に生

息する動物（樋熊清治）

郷土のあけぼの、先土器、繩

文、弥生時代（島田靖久）

開けゆく郷土、古墳時代、越

国と越後国、古代の魚沼地方、

古代の社会と生活、古代の信仰

と文化（阿部恭平）

荘園と武士のおこり、建武中

興、南北朝の争乱（佐野良吉）

妻有の国人たち、上野氏と興

徳寺、上野家成と下平修理、景

舟運、中世の関所（丸山克巳）

近世前期の支配、幕府領と白

河藩の支配、幕末期の支配と川

西の村々、検地と貢租、年貢と

農民の負担（須藤重夫）

国内情勢の変動と開国の要求、

討幕の動きと大政奉還、戊辰戦

争と郷土（金子幸作）

新政府の支配と村々、郡制と

町村制（須藤重夫）

地租改正と税制、封建領有制

の解体（故、高橋友義）

戸籍と徴兵令（金子幸作）

学制発布以前の教育、小学校

の設立と就学（室岡倉二）



高橋局長から賞品を受ける蔵品さん(右)

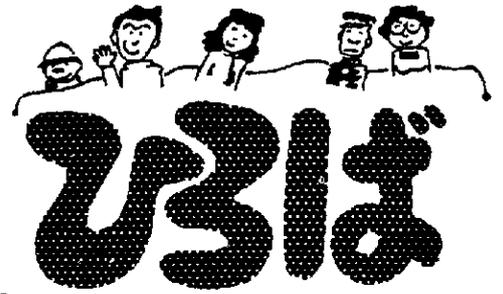
先月二十日からお年玉つき年賀はがきの当選賞品の引き換え

一等の幸運

栄町の蔵品さんに

お年玉つき年賀はがき

が始まりました。期限は七月十九日ですが、当選の方はお早めに郵便局へ申し出てください。千手郵便局では、一月二十九日までに一等から五等まで全部の賞品を交付したとのことです。一等の幸運に恵まれた方は、栄町の蔵品三男さんです。年賀状は町内の方から届けられたもので、A・B組共通205362番でした。蔵品さんは、一月二十九日に高橋局長から賞品のビデオテープレコーダーを受け取り、「間



ひさば

とうとう3年続きの豪雪(1月27日に375cm)となってしまいました。屋根の雪下ろしや家の周りの雪のけなどで、日曜日でも休んではられません。暦の上では春ですが、寒さはまだまだ続きます。気の持ちようで風邪はある程度防げますが、風邪を引いたと感じたら、早めに手当をすることが肝心です。

私の提案

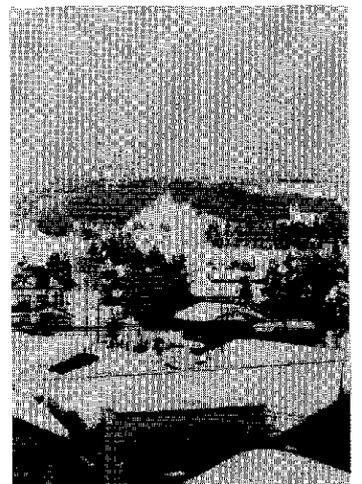
身近にスキー場

そして日本一の何かを

中屋敷 小林正夫

今、我が川西町に無いものがあります。冬のスポーツ(レジャー)施設スキー場です。なんとか身近にスキー場が造れないものかと思えます。

私が提案したいのは、角万寺にロープ搭を二、三基設け、圧雪車を一台配置し、休憩所を造ることです。子供たちが歩いて行けると



中央部分が角万寺

違いではないかと思いました。今まで一等のほうなんかは見ませんでした。……と笑顔で話されました。

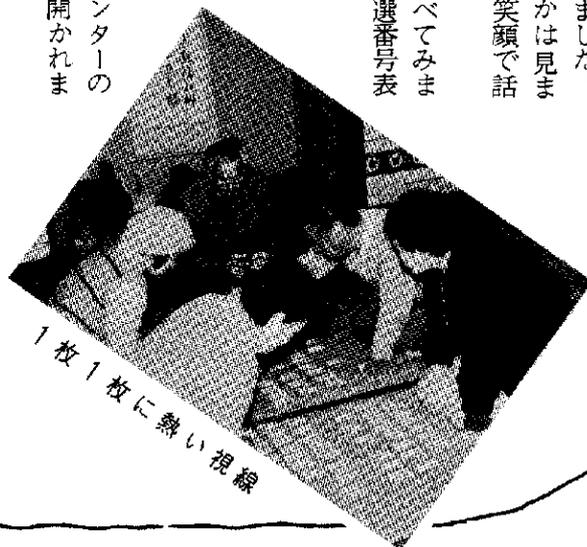
あなたももう一度調べてみませんか。(郵便局に当選番号表があります)

かるた

大会に熱気

今月二日に、総合センターの集会所でかるた大会が開かれました。

この日は雪が激しく降りしきり、参加者は少なめでしたが、自信のある方たちばかりなので集会所は熱気に包み込まれまし



一枚一枚に熱い視線

た。百人一首は記憶力のほかに体力が必要なゲームと感じてきました。

ろでなければ地元の良いを生かせません。四百余人の千手小学校児童のスキー授業に使えます。上野、橋、仙田、白倉小学校の児童にもスクールバスの運行で利用いただけます。車を利用の方には、寺尾から長福寺、千手浄水場、田中町へと一方通行にすることにより、片側駐車のスぺースが取れると思われま

角万寺は千手地区から見通されます。スキーを滑る姿が見え、楽しい音楽が聞こえてくれば、早く屋根の雪下ろしを済ませてスキーに行きたくなるではありませんか。

ぜひ実現願いたいものです。また、せっかく川西町にはモトクロス場があるので、日本一の雪の中で日本一の雪上モトクロス大会を開催できないものではないでしょうか。

何か川西町に日本一のものをつくらうではありませんか。

「雪は友達！」

ふれあいパックの会が
3月8・9日に
イベント開催

ふれあいパックの会事務局では、会員を対象とし、「雪は友達！」のイベントを3月8・9日に開きます。町内の子供たちにも加わっていただきたいとのことです。行事内容をいくつか紹介します。

☆3月8日夕方
雪上キャンプファイヤー
(松葉荘周辺)
小正月行事である「塞さいの神」や「鳥追い」をします。

☆3月9日午前中
雪上レクリエーション大会
(総合体育館周辺)
雪像づくり、もちつき大会などをします。

はいけいふるさとさん

故郷の皆様

雪の中お体をたいせつに

八王子市 松浦 サクさん

(中仙田出身)



八王子で、私もはじょうぶに暮らしております。

このたびは、広報紙と民話をお送りいただき、ありがとうございます。民話の言葉が懐かしくて読み返しては、田舎を思い出しております。なんともいいまして生まれ故郷はいいです

ね。

年の暮れに駅前のデパートへ行きましてら書道展が開かれていました。その中に、「さまざまの光はあれど世の中に親の恵みに増す光なし」という文面とすばらしい文字の流れにしばし立ち止まりました。「いつまでもあると思うな親と金」のことわざもありますが、親孝行した時には親はいません。自分が親になれたのも生みの親があったればこそと、六十七歳になつてしみじみ思う昨今です。

お地藏様の民話じゃないけれど、

ど、お正月になると白いまんまに大きな魚の切り身と豆腐汁、みんなが今日は正月様だんがドウドクテクレヨといわれて、赤いほっぺでドウド食べたころを思い出します。母がいろいろくめんしてくれた姿がしのびれます。

主人もいなくなった今は、孫たちや嫁を大事にし、「世の中の人を悪しきと思ふなよ我だに よくば人もよからむ」と、自分の行動を省みながら、毎日を楽しく過ごしております。

故郷は、雪との闘いの中での生活で、ほんとうにたいへんなことと存じます。「雪が解ければ越路の春は梅も桜もみな開くと歌の文句じゃないけれど、それまでしばらくの辛抱です。故郷の皆様、くれぐれもお体をたいせつにお暮らしてください。

(旧姓「小林」)

わしの自慢

野うさぎ「クロ」は

わが家のアイドル

上町 平野正晴さん

野うさぎ「クロ」は、平野さんの家のアイドルである。

「去年の十月に、親せきの人

がきのこ探りで、動くきのこを二つ見つけて来たとかで

……それを一羽預かったのです。秋子は珍しいといわれて

います。オスらしいですね」

クロの名づけ親はお子さんたちとのこと。

「野うさぎは冬には白くなりますが、その過程を子供たちに教えたくて飼ったのです

が……」

クロは真冬の今も茶色である。

「家にいれば外敵もなく、保護色に変わる必要がないからでしょうかね」

アイスやプリン、チーズ、パンと、肉に魚以外ならなんでも食べ、しゅんぎくやセロ

リなどのおいのきついものが好物という。

「育てるのに苦労しました。スポイトでミルクを飲ませたりなど……」

かわいがっても鳴くなどの反応はまったくないとのこと。

「毎日クロに家中が振り回されてる感じがです。外出して来ると、みんながクロはいるか、と第一声を発します」

クロは昼間は事務室でストープに当たっているが、よその人が来るといすの下に隠れてしまう。

「夜は二階で子供たちといっしょに寝ています」

大きくなるにつれて野性に返り、警戒心が強まるらしい。

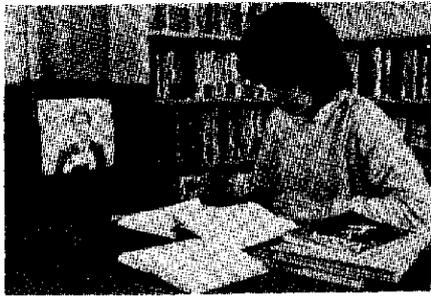
「春になったら山へ戻したいのですが、えさが取れるか心配です。それに情も移って

いますし、その場にならないと分かりません」と平野さん。

奥さんに抱かれた「クロ」ちゃん



NHK学園の 通信講座で 学習しませんか



NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

あなたも通信講座で学習しませんか。

☆生涯学習講座

- 教養と趣味を深めるための通信講座で、次の講座があります。

古典、漢詩、文章、美しい日本語、国語、英語、数学、簿記、母と子の書き方、母と子のリズムあそび、ファミリー写真、ビデオカメラ、書道、硬筆、絵画、囲碁、園芸、俳句、短歌、川柳、小論文・作文、セミナー、リーダー養成塾、俳句友の会、短歌友の会

- 申し込み受け付け

2月15日～4月15日

☆高等学校 普通科コース（通信教育）

- 4年間の学習で高校卒業資格が取得できます。

- 申し込み受け付け

3月1日～4月7日

☆高等学校 教養コース（通信教育）

- 国語、英語など21科目を学習します。

- 申し込み受け付け

3月1日～4月30日

※詳しい案内書をご希望の方は、〒186東京都国立市富士見台2-36NHK学園8E11係に、講座名またはコース名、郵便番号、住所、氏名、電話番号をはがきに記入し、請求してください。

訓練生を募集中

十日町高等

職業訓練校

県立十日町高等職業訓練校で、昭和61年度訓練生（4月入校生）を次により募集しています。

*工芸織物科

定員20人 期間1か年 かすり

- 織物の分解、設計、服地、絣、帯等の製織技能を身につけるとともに、関連知識を学びます。

*染色工芸科

定員20人 期間1か年

- 無地染、型染、友禅染、草木染等の染色技法を身につけるとともに、関連知識を学びます。

*デザイン科

定員20人 期間1か年

- きものの図案の製作技能を身につけるとともに、関連知識を学びます。

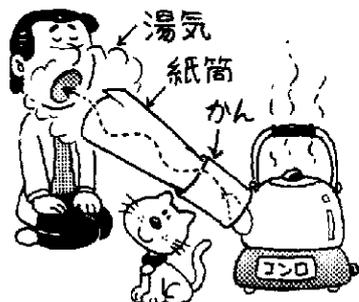
※入校の申し込み、問い合わせは、新潟県立十日町高等職業訓練校〔十日町市学校町 ☎(57)1105〕へ。

風邪の季節、です

簡単な吸入の 方法があります

のどが痛い、せきが出る、息苦しいなどの症状を和らげるには、蒸気吸入が効果的です。

吸入器がないときは、図のようにやかんを利用する方法があります。蒸気の温度には気をつけてください。



ガイド

情報

国立石川身体障害者

職業訓練校の ご案内

国立石川身体障害者職業訓練校は、昭和45年に日本海側では初めて設置された施設で、金沢市の南効・野々市町にあります。

この施設は、身体に障害のある人たちに対し、職業訓練を行うことによって、その能力に適する知識や技能を与え、就職・自営を容易にし、生活の安定を図る公共職業訓練施設です。

昭和61年度訓練生の募集は次のとおりです。

- *募集科目 製版印刷科、一般事務科、トレース科、電子機器科、洋裁科、陶磁器科

*応募資格 身体障害者手帳所持の人

*願書の提出先 最寄りの公共職業安定所を経由して提出

*応募締め切り 3月20日（ただし、願書提出の人から面接選考を行い、定員に達ししだい締め切る）

※詳しくは、石川身体障害者職業訓練校〔☎0762(48)2235〕か、お近くの公共職業安定所へお問い合わせください。

停電の
お知らせ

今回はありません。



次の善意が寄せられました。

◆豪雪見舞寄付金

*新潟県信用組合 (関昭一理事 長) から五万円

*第四銀行 (中村正秀頭取) から五万円

*新潟相互銀行 (大森広作取締役社長) から五万円

◆一般寄付金

*川崎広夫さん (横浜市) から

広報発行の一助にと一万円

*高橋惣平さん (東京・品川区) から、広報発行の一助にと一

◆社会福祉協議会へ

*小林清市さん (中屋敷) から

三万円

*高橋良吉さん (田戸) から三

*内山重義さん (新町新田) から五万円
*太田克治さん (田中町) から五万円

パソコンを寄贈

千葉市の椎名さん

千葉市高洲にお住いの椎名義慶さん (ソード株式会社社長) は、このほど町へパーソナルコンピュータ一式 (百二十万円) を寄贈されました。業務改善に役立てるようとのこと。

川西町の積雪状況

(単位: cm)

月日	61年	60年	59年	58年	57年
1・10	240	246	190	110	30
1・15	278	293	200	154	70
1・20	222	285	245	122	116
1・25	313	289	302	156	78
1・31	342	320	296	120	150

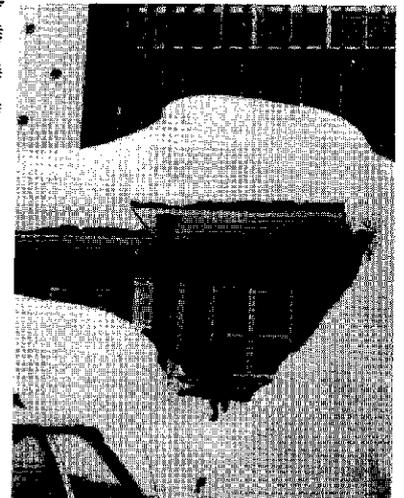
豪雪対策 本部を設置

町では、1月12日の正午に豪雪対策本部を設置しました。

この日午前9時現在の積雪は308cmでした。

雪による事故や危険な場所を見つけた方は、ただちに役場の豪雪対策本部 (☎ (68) 3111 有線2133) へ連絡願います。

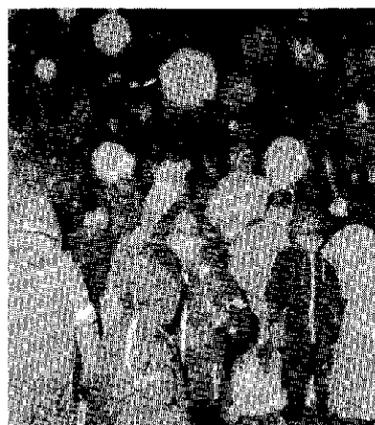
役場の玄関に本部の看板



「鳥追い」の声高らか

一月十四日 沖立の様子

小正月行事が町内の各地で盛んに行われるようになりました。「鳥追い」や「どんど焼き」などが、地域のコミュニケーションを深めています。



鳥追いに出發



ほんやら洞で腹ごしらえ

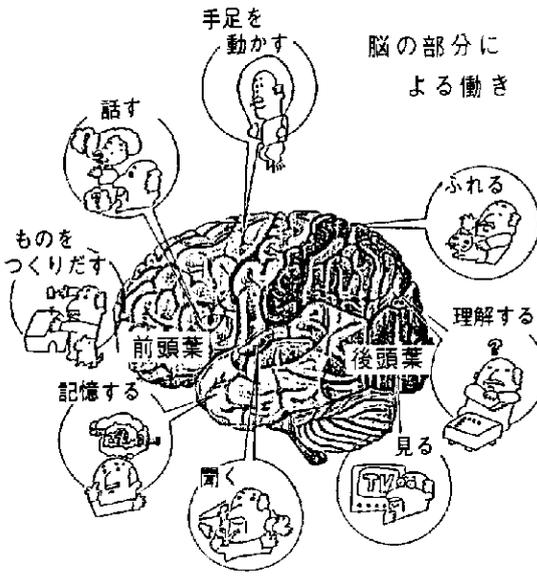
沖立では、小学校の児童三千人全員を対象とした「ほんやら洞」を部落センター前に作りました。鳥追い行事の体験で、その中から雪国の厳しさと楽しさを味わってもらえれば……というこ

とで父兄たちが世話をしました。準備は、一月十二日(日)の午後から四年生以上を動員し、二時間くらいで4m×6m、深さ2mほどの雪穴を掘りました。十四日の午後は父兄がシートを張ったり、わらを敷いたりし、仕立げました。子供たちは六時にほんやら洞に入りました。大ぜいで食べるあべかわもちの味は格別で、自分が持ってきた倍以上の七個も食べた子がいました。腹いっぱいになったところで鳥追いに出発です。「あの鳥どこから追ってきた……」。降りしきる雪もなんのその、声高らかに害鳥を追い払い、豊作を呼び寄せました。

くらしと健康

脳の働き

脳は、全身の働きを統合するとともに、精神の活動を営む極めて高度な機能を備えた器官です。生まれたばかりの赤ちゃんの脳の重量は三百七十グラムぐらいで、百四十億個の神経細胞から成り、この神経細胞は学習や訓練によってますます緻密になります。知恵がつくと同時に重さも増えて、二十五歳ころには千四百グラムほどの塊となります。脳の構造は、脳の表面を大脳皮質といって、見たり、聞いたり、話したり、手足を動かす命令



を出したり、においや味、寒暖、痛みなどを識別する場所とか、さまざまな情報を記憶して判断し、感情や意志などの精神活動をするようにできています。脳は、四十歳を過ぎると老化が始まり、一日に数百万個の細胞が死滅し、八十歳ころになると千二百グラムぐらいの重さとなります。脳の老化を防ぐには、頭を使うこと、睡眠を十分に取ること、友達をつくること、趣味を持つことなど、なんでもできることを積極的にやる心構えが必要です。また、体を動かすことによって脳が刺激されますので、運動も一つの方法となります。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

- 中嶋 ホモ 上野 七五
- 太田 亀次 田中町 七九
- 田口 庫二 木落 八〇
- 水品 兼治 三領 八四
- 齋喜 政良 室島 八五
- 星名 正治 伊友 九五

うぶ声—おすこやかに

- 教藤 直人 義之 長男 沖立
- 清水 隆明 隆 二男 上野
- 尾身 彩佳 尚登 長女 発電所通東
- 庭野 裕太 清市 二男 霜条

- 清水 政文 昭夫 長男 寺尾
- 山口 大樹 守一 長男 仁田
- 井上 文子 吉一 二女 神社町

たかさこ—ご円満に

- 新二郎 川崎 好雄 中島町
- 新婦 村山 京子 高原田から

新しい嘱託員

(敬称略)

- 【上野地区】
- 元町 渡辺 登
- 下平新田 沢口富士雄
- 三領 水品 忠雄
- 小根岸 小海敬太郎
- 下平新田住宅 西村百合子

心配ごと相談

- 2月19日..... 克雷センター
 - 2月26日..... 総合センター
 - 3月5日..... 上野連絡所
 - 3月12日..... 橋出張所
- ※時間は午後一時から二時までです。事前に事務局(☎68)2308へ相談内容を連絡ください。

1月の交通事故発生件数

計	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
死者	2	5	0	0	0
傷者	5	0	0	0	0
死傷者	0	0	0	0	0
酒気	0	0	0	0	0

()内は前年比較



かわにし俳壇

太田白南風選

- 霜条 星名 星光
- 忍ということ一筋に雪卸す
- 爪先に踏張る力雪卸す
- 降る雪の細やかなれば積るらし
- つつ抜けに空の無限に雪暗る、
- 雪樋を噛んで厳しき軒氷柱

三領 高橋たかし

- 町長の米寿訪問福寿草
- 松七日過ぎて職場の顔戻り
- 雲一つ無き大寒の今朝の晴
- 岩瀬 小川 益菜
- 塞がれし窓にころがる藪かな
- 虎落笛分教場は始業式
- 囲われし南天雪につぶらなる
- 野口 野沢 寅生
- 残り火にかんじき干して残工事
- 細き月西に残りて初苗

寒雷や村中を行く人もなく

- しまきくる雪に俯向き横歩き
- 川沿いに住み馴れ霧氷咲く日々にかんじきの売れ大雪の小商い
- 中仙田 左木 人
- 水槽の緋鯉動かす水寒し
- 風邪の窓益梅ひそと三輪
- 赤谷 小川 秀
- 雪山の重なり合うて寒の月
- 冬日射す二階明るき福寿草